

RNN速報

「パキスタン・インド北部洪水」被災者緊急救援のお願い

RNN事務局長 黒住 宗道

各位

9月4日から7日にかけてインドとパキスタン北部の国境付近カシミール地方で、モンスーンの豪雨による大規模な洪水が発生しました。インド北部からパキスタンに流れているジェルム川（Jhelum）の堤防が決壊し、道路や建物が次々と浸水、ダムが崩壊するなど大きな被害が出ています。

洪水被害は川の上流から河口に向けて、現在も広がっており、9月中旬にかけて雨の予報が出ているため、今後の救援活動がさらに難航し、被災地域が広がることが懸念されています。この洪水によりパキスタンでは、死者312人、負傷者540人、200万人以上が被災しています（パキスタン環境省自然災害管理庁9月15日発表）。また、インドにも被害が広く報告されており、死者295人、約240万人が被災しています（インド内務省災害管理局9月15日発表）。

この状況を受け、9月9日には被災地の一つであるパキスタンの現地協力機関NRSP（※）とともに被災地への緊急医療支援活動の実施を決定。NRSPによる現地のニーズ調査と支援活動の準備を開始しました。さらに17日には、AMDA看護師1名が日本を出発し、同日、パキスタン・イスラマバードに到着後、NRSPとともに活動を開始する予定です。

■派遣者プロフィール

岩本智子（いわもと ともこ）：AMDA プロジェクトオフィサー / 看護師（米国資格） / 岡山県在住

※ 現地協力機関NRSP(National Rural Support Programme): 1991年設立、パキスタン・イスラマバードに本部をおくNPO。活動は、パキスタン全土の54の地域に広がる地域住民の能力開発による貧困対策を目的とし、マイクロクレジットなどの活動を行っています。2010年夏に発生したパキスタン大洪水でも救援活動を協働し、以降、パキスタン南西地震緊急医療支援活動、パキスタン家庭健康教育プログラムでも協働しています。なお、2013年4月に岡山でAMDAが開催したアジア相互扶助ネットワーク会議にも参加したネットワーク構成メンバーでもあります。

この度も、下記の基準に則り、各位に募金をお願い申し上げる次第です。尚、本募金の当面のめ切を本日から1ヵ月後の2014年10月17日といたします。宜しくお願いいたします。

RNN定例会議(1998/7/24開催)により、本ネットワークによる緊急救援活動実施について

- ①RNNのメンバーが被災した場合
- ②「トピアの会」のネットワーク(INNED、姉妹校等)が被災した場合
- ③AMDAが現地入りした場合

が即対応の基準として承認されています。

募金は下記のRNN 郵便振替口座に送金をお願いします。集められた募金はAMDAへの委託とともにRNNとして責任をもって活用させていただきます。これまで同様、募金の領収書は各委員(教団・教会・寺院)名で出されます。ご協力に際しては、通信欄に「パキスタン・インド北部洪水」とご明記下さい。

以上

RNN郵便振替口座

加入者名：RNN

口座番号：01310-9-63933